



ショートからのお願い

～緊急対応にご理解とご協力を、そして…～

ショートを開始してから、数年が経過しました。理想にはまだ遠いと憤りながらも、「日常生活を支える一助になってきた」、あるいは「多くの万一にも寄り添ってきた」という自負もあります。保護者の方の突然の事故や入院などで、介護者を失ったゲストの「生存を守る事」が、「最も重要な事だと、誰もが認めて下さる」と信じてきました。そのため、事前予約を頂いていたにも拘わらず、緊急対応のために突然のキャンセルをお願いしては、多くの方にご迷惑をお掛けしてきました。真に申し訳なかった次第です。現在も、個別ケア会議(ケース会議)などを必要とする宿泊ゲストが数名おられます。

ところで、レスパイト(休息)利用が認められた支援費制度の時から、ショートから「緊急」の文字が消えてしまった様に思います。

又、昨年の四月からの報酬単価引き下げ以来、運営は厳しく、事業所の体力は除々に落ちてきております。これは、前穂だけに限った状況ではないと存じます。そんな状況下、実は、緊急対応には報酬を超える費用がかかる場合が多々あります。しかし、ショートの社会的使命はその継続性と緊急対応力にあると、頑なに意識し続けてきました。

今後も、この頑固を通したいと願っております。そこで皆様にごお願いがございます。

①お知り合いの政治家や行政職などの制度変更に関わるような方々に、ショート継続の必要性と、そのための費用投下の必要を訴え続けて頂けませんでしょうか？もし、説明が必要とあれば、前穂からもさせていただきます。

②ショート利用の未経験な方がいらっしゃれば、「万一の時のためには日頃からの慣れが重要であり、それがご本人を守る近道だから、親御様の元気な今の内に登録・体験した方が良い…」とお伝え頂けませんでしょうか？

※これは前穂の利用をお勧めするものではありません。

何卒、宜しく願い申し上げます。

前穂通信

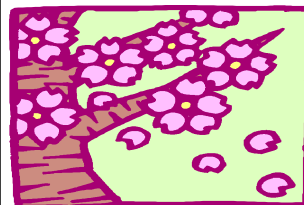
まえほつうしん

発行日

2010年4月1日

発行元

自立センター前穂
〒569-1022
高槻市日吉台
1番町21-18
072-689-8600



お知らせ

現在、昼・夕食でご利用頂いている「にっこり弁当」が4月末で事業終了のため、5月1日からの新供給先を急ぎ探し中です。御食事代の変更などにご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了解の程、宜しくお願い申し上げます。



高槻クロスカントリー完走！～運動プログラムからの報告～

3月21日(日)の「高槻クロスカントリー 3km」において、運動プログラムの個別カルテゲストの方が、完走を達成されました。これは健常の成人男性でも厳しいものである事から、5か月間に渡る取組みの成果が証明されたものと喜んでおります。

【個別カルテ】

身長・体重などのデータや、運動能力・健康状態を把握した上で、課題解決のために目標を立てて、取組メニューの詳細を詰めて行くものです。作成にあたっては保護者の方との面談や、ご家庭訪問などもさせて頂いております。

以下は、担当した竹谷 康弘の感想です。「完走された時の、ご本人のお顔が素晴らしかったです。保護者の方も素敵なお顔をされていました。やりがいを強く感じました。5ヶ月間という短期間でしたが、お母様のご自宅での毎日の取組みが、この成果につながったものと思っています。他のゲストの方にも提供して行きたいと願っています。」

※あるお一人だけの事ではありますが、通信にて報告させて頂く事で、ご本人やスタッフの今後のやる気に繋がると考えております。ご了解の程、宜しくお願い申し上げます。